開催要綱

公的扶助研究　関東ブロックセミナー2026

「考えよう！　わたしたちの生活と社会福祉のかたち」

作･長澤　浩一さん

参加受付は 12 月 1 日から
スタートします

場所：横浜市従会館

（横浜市西区宮崎町２５番地）

2026 年 2 月 14　日（土）10：00～16：30

（受付：9：30）

≪主　催≫　公的扶助研究関東ブロックセミナー実行委員会
≪共　催≫　全国公的扶助研究会
≪協　力≫　横浜社会福祉研究会

タイムテーブル　午後の企画は選択式となります

受付 | 全体会 4階ホール | 休憩 | 午後企画 ×6 | 受付 | 懇親会

9：30　10：00　12：15　13：15　16：30　17：30　19：30

全体会　10:00～12:15　4階ホール

「生活保護基準最高裁判決をふまえて－これからどうすべきか－」

2025年6月27日に生活保護基準引下げ処分に関して違法であるという最高裁判決が出されました。全体会ではこのいのちのとりで裁判に携わる弁護士、生活保護利用者、ソーシャルワーカー経験のある研究者からこの裁判の現状と課題、今後の展望を伺います。

司　会：青木　尚人さん　（高崎健康福祉大学 講師）
報告者：井上　啓さん　（弁護士、神奈川いのちのとりで裁判　弁護団）
報告者：生活保護利用者の方　（神奈川いのちのとりで裁判　原告）
報告者：大山　典宏さん　（明治大学専門職大学院専任教授・埼玉県元生活保護ソーシャルワーカー）

6月27日、最高裁判所の前にて

講座・分科会・フィールドワーク　13:15～16:30

【講座・シンポジウム】「『健康で文化的な最低限度の生活』を実現するための生活保護運用はいかにあるべきか!」

生活保護は厚生労働省発の諸通知をまとめた生活保護実施要領に基づいて実施されています。実施要領をどのように読み解けば、生活保護のよりよい実践に結びつけることができるのか、「精選生活保護運用実例集」を発行された大山典宏さんの講演と、引き続くシンポジウムによって皆様とともに考えていきます。

司　会:青木　尚人さん(高崎健康福祉大学　講師)
講　師:大山　典宏さん（明治大学専門職大学院専任教授　埼玉県元生活保護ソーシャルワーカー）
報告者:常数　英昭さん(東京生活保護福祉研究会　東京都元生活保護ソーシャルワーカー)

【分科会①】　女性支援「『困難を抱えた女性』が、まん中の支援ですか？女性支援新法が施行されて扉は開きましたか？」

女性支援新法制定により、自己決定過程への支援、民間団体との連携・協働、公的責任へ動き始めました。みなさんの現場は、いかがですか？女性支援の現場で活躍されて、長らく関わってこられた横田氏に現場の変化について話していただき、みなさんと情報共有し深めたいと思います。

司　会:代田　美智子さん（東京生活保護福祉研究会）
講　師:横田　千代子さん（全国女性自立支援施設等連絡協議会・常任理事）

【分科会②】　学生との交流「これから福祉の仕事をしようと思われているあなたへ」

これから福祉の仕事をされようと考えている方を対象にして、実際に福祉の仕事をされている先輩の方をお招きしてお話を聞く機会を分科会として開催することにしました。福祉の勉強をされた後に、福祉事務所や病院などで現在働いている方をゲストとしてお招きして「実際に福祉の仕事に就職してみて」のお話していただく予定です。なお、第二部ではグループに分かれて、ゲストとの質疑応答も予定しています。

司　会：武澤　次郎さん　（相談支援事業所 フェリシダ 主任相談支援専門員　元生活保護ソーシャルワーカー）
報告者：小川　真紀子さん（神奈川県・地域支援担当ソーシャルワーカー）

【分科会③】　社会福祉職交流　　「行政における社会福祉職って何？」

社会福祉職が設置されている自治体が増えていますが、それぞれの自治体で担う範囲は異なっています。本分科会では社会福祉職がどのような仕事を担っているかを話し合い、現在の私たちの位置を理解します。

司　会　：　楢府　憲太さん（高崎健康福祉大学　講師）
報告者　：　志村　李緒さん（神奈川県・障害者支援ソーシャルワーカー）
報告者　：　越山　詢子さん（神奈川県・生活保護ソーシャルワーカー）

【分科会④】　精神障害者などへの支援

「精神、知的、発達障害者への支援とメンタルヘルスを考えましょう」

生活保護業務を担当するソーシャルワーカーや査察指導員向けに、（仮題）「よくわかる生活保護ガイドブック 3 Q&A　精神に困難を抱える人への生活保護実践　（上）」（明石書店発行）が今年 10 月に全国公的扶助研究会が全面的に監修し、発刊されます。セミナーではこの本をテキストとして、執筆者から精神障害者などへの支援とソーシャルワーカーのメンタルヘルスなどについて、講義をしてもらいます。

※参加者はこの本の購入が必要となります。（価格 1,800 円＋税）　セミナー当日にも販売します。

講　師:横山　秀昭さん　（NPO 法人大地の会 & よこはま成年後見つばさ　理事）
講　師:大和田　佳世さん（神奈川県・高齢者支援ソーシャルワーカー）

【フィールドワーク】　「横浜・寿地区を歩く」

横浜・寿地区は、「日本三大寄せ場」の一つで、かつては日雇い労働者の街でした。現在は福祉ニーズの高い地区になっています。現地を詳しく知る講師から街歩きをしながら、一緒に学んでみませんか。

○　定 員:15 名　◎抽選制―1 月末で締切り、結果を e-mail にてご連絡します。申込時は第 2 希望をご記入下さい
○　参加料:関東ブロックセミナー参加費　＋　フィールドワーク参加費 1,000 円　（寿地区への移動は自己負担）
※全体会終了後に、詳細をご案内しますので、フィールドワークにお申し込みの場合は全体会への参加が条件となります。

講　師:長澤　浩一さん（寿在住２５年・元労働者）

【懇親会　※要事前申込(任意参加)】17:30～（会場はセミナー当日ご案内します）

参　加　費

セミナー参加費
- **一般　2,000 円**
- **学生・会員　1,000 円**
- **生活保護利用者　無料**

- **フィールドワーク参加費:1,000 円(定員 15 名　※抽選制)**
- **懇親会参加費:5,500 円程度**

(懇親会のセミナー当日のキャンセルはキャンセル料が発生します)

※昼食は参加者がお持ちください

参加申込・お支払いについて　12 月 1 日から参加を受付ます

参加フォームもしくは表紙の QR コードから申し込みをお願いします。　※当日参加も受け付けます

→https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdHa_osZ_SHo-7qhggfeimBIGkQszf53yEem_d4gLM2svVwuA/viewform?usp=header

参加費の納入:当日受付でのお支払いとなります。
***おつりがないようにご協力お願いします。**

領収書発行希望の方は
当日受付でお申し付けください。

全国公的扶助研究会　入会のご案内

- 全国セミナー、各地ブロックセミナーなどのセミナー開催
- 生活保護分野の専門誌「季刊公的扶助研究」発行などの出版活動
- メーリングリストを活用した会員同士の情報交換
- 他団体とのイベントの共催、講師派遣

年会費 6,000 円

学生・大学院生(社会人除く)および、生活保護利用者の場合は 4,000 円

（年度単位／4 冊の機関誌購読料を含む）

入会希望の方は HP にお進みください。

https://kofuken.com/

生活保護分野の専門誌

『季刊公的扶助研究』

定価：800 円（税込）

体裁：B5 版･約 50 頁

全国公的扶助研究会
公式ホームページ

問い合わせ先・その他

セミナーに関する問い合わせ先

全国公的扶助研究会事務局　　**※セミナーに関して、会場への直接のお問い合わせはご遠慮ください**

⇒　電子メール　zenkoku@kofuken.com　　**⇒　FAX　050-3730-2116**

- 件名は「関東ブロックセミナーについて」と明記して下さい。
- 電話やＦＡＸによる回答を希望される場合はその旨を明記し、連絡先の番号を付記して下さい。
- 公費払いをご希望の自治体担当者は参加登録前に事務局までお問い合わせください
- 一般区分で参加登録後に本会へ入会した場合は、セミナー参加費を変更しますのでご連絡ください。
- 問い合わせから回答まで、お時間を頂く場合があります。

その他

車椅子ご利用の方、視覚障がいや聴覚障がいがある方など、アクセシビリティの確保について、不安がある方は、遠慮なくお問い合わせください。

災害や感染症拡大など不測の事態により、予定していた内容で企画が行えなくなる場合があります。その際は、速やかにホームページ・X(旧 twitter)@koufuken でお知らせします。

セミナー会場アクセス

横浜市従会館(よこはましじゅうかいかん)　〒220-0031　横浜市西区宮崎町２５番地　　(駐車場はありません)

・ＪＲ
横浜市営地下鉄ブルーライン
桜木町駅　徒歩 10 分

・京浜急行　日ノ出町駅
徒歩 10 分
※伊勢山皇太神宮の前です
右の地図参照⇒

※昼食は参加者が
ご用意してください。
弁当の用意はありません。
また、近くにはコンビニや
食堂はありません。